

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ 第74回社会を明るくする運動



更生保護とき

令和6年初秋号

発行
土岐更生保護
サポートセンター
(土岐保護司会)
土岐市土岐南町土岐口2101
(土岐市役所内)
TEL 0572-54-1111
(内線672)

法務省主唱「社会を明るくする運動」はすべての国民が犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動で、今年で第74回目となりました。

一日中学生保護司 街頭啓発活動

今年第74回を迎えた「社会を明るくする運動」。7月の強調月間に合わせ、市内6中学校から選ばれた12名の一日保護司のみなさんが7月3日、イオンモール土岐の店内各所で街頭啓発活動を行いました。

中学生保護司のみなさんは、事前に各中学校での委嘱式に臨み、保護司制度や社会を明るくする運動について学び、更生保護への理解を深めたうえで活動に参加しました。

街頭啓発に参加された加藤淳司土岐市長とともに「社会を明るくする運動にご協力をお願いします」と元氣なお話をしました。



一日中学生保護司のみなさん

- | | |
|--------|--------|
| 土岐津中学校 | 鈴木 健心 |
| 西陵中学校 | 村澤 彩奈 |
| 濃南中学校 | 梅村 琉生 |
| 駄知中学校 | 羽柴 陸斗 |
| 肥田中学校 | 倉智 ほの香 |
| 泉中学校 | 額賀 映名 |
| | 野々村 美星 |
| | 原 侑弥 |
| | 前田 凌 |
| | 安藤 壮基 |
| | 岸川 慶太郎 |

高校生との意見交換会

「社会を明るくするために私たちにできること」をテーマに7月25日、東濃フロンティア高校生徒会のみなさんと意見交換会を行いました。

不登校などの自身の経験を社会に役立てたいと、市内中学生を対象に4年前から開催してきた「高校生相談会」をこの日の午前に終えたばかりのメンバー6名が意見交換会に参加してくれました。

「不登校の最中は将来が不安で何もできなかった私でも今は楽しく高校に通えている」「不登校は親に対する罪悪感があったけど、必要な経験だった」など、高校進学への不安などの悩みを抱える中学生



へ向けたメッセージに込めた思いを熱く語ってくれました。悩みがあっても誰かに話すことで少しでも前向きになつてもらいたい、と他者の悩みに真剣に向き合う高校生の姿こそが社会を明るくする、と頼もしさ、若いチカラに大きな期待を抱きました。

なお、意見交換会に参加した東濃フロンティア高校3年 河村遙さんが「社会を明るくする運動」をイラストで表現し

『将来に対して夢や希望を抱いている学生の人たちに、胸を張って未来へ進んでほしいという願いをこの絵に込めました。』と、コメントを寄せてくれました。





薬物乱用は、ダメ。ゼッタイ。



泉小学校でクイズに参加する児童のみなさん

市内小・中学校、高校で 薬物乱用防止講座を開催

5月20日、泉小学校で今年度の薬物乱用防止講座をスタートしました。体育館に集まった6年生は、学校薬剤師さんから市販薬の副作用の仕組みについて説明を受け、簡単に手に入るかぜ薬などでも一度にたくさん摂取することの恐ろしさを知ることができました。保護司からは、違法薬物はたった一度使用するだけで薬物乱用となり、抜け出すことが難しいことなどを伝えました。

土岐保護司会では平成21年から市内の高校生及び小学6年生を対象に「薬物乱用防止講座」を実施してきました。増え続ける薬物依存で苦しむ人たちの更生を支えてきた保護司としての経験を児童生徒のみなさんに伝えることで、将来を担う子どもたちが自分自身を守る力を身に付け、薬物犯罪に巻き込まれることがないよう願いを込めています。

7月10日、土岐紅陵高校1年生を対象に、講座を行いました。講座は学校薬剤師さんから、医薬品の正しい使用方法、市販薬の過剰摂取の危険性、たばこやアルコールが未成年に及ぼす影響、大麻や覚せい剤などの違法薬物が脳や体に与える危険性など、映像を交えた説明を生徒たちは真剣な面持ちで聞いていました。また、保護司からは、実際に使われる誘い文句の例を挙げ、危険な場面に遭遇した時の具体的な断り方などの対処方法を紹介しました。終了後のアンケートでは、「薬物乱用は本人の心身の健康を害するだけでなく、家族をはじめ社会生活すべてにおいて問題を引き起こすことを知ったので誘われても絶対に断る」と感想が寄せられました。

若い世代における 市販薬過剰摂取の拡がり

近年、ドラッグストアやインターネット等で処方箋がなくても購入できる市販薬の過剰摂取が拡がりをみせています。これを『オーバードーズ』と言い、大きな社会問題となっています。

国の「全国精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査（令和4年）」では10、20代の薬物依存患者の原因薬物として市販薬の割合が高くなっており、特に10代において平成26年の調査以降、0%から令和4年には65.2%へと激増しています。

乱用の背景には若者の様々な悩みや生きづらさがあると考えられ、これまでとは異なるアプローチが必要と指摘されています。

若者に大麻まん延！
誤った認識が背景か

令和4年の大麻による都内での検挙者数のうち約7割を30歳未満が占め、若い世代の大麻乱用が深刻な問題となっています。特に検挙された911人のうち大麻の危険性を認識していない者の割合が8割を占め、他の違法薬物と比較して有害性の認識が著しく低いことが数字からも明らかとなっています。これはインターネット等における誤った情報が大きく影響していると考えられています。講座を通じて危険な薬物乱用に対する正しい知識を広めていきます。

一回だけなら大丈夫

害は無いんだって？

天然成分だから安全だよ

SNS 動画サイト

海外では合法が当たり前

依存性はないからいつでもやめられるよ

これらはすべて間違った情報です!!



ひまわりテニス
飛び入り参加大歓迎です！

こんにちは！土岐地区 BBS 会です！

土岐地区 BBS 会では、毎月第三日曜日、泉西公民館ふれあいホールで、テニスをしてみたい人はもちろん、学校生活に不安のある小中学生から生きづらさを抱える人まで、どなたでもご参加いただける「スポンジテニス教室」を行っています。スポンジテニスは、軽いスポンジでできたボールを使い行うスポーツで、ボールに当たっても痛くはありません。テニスをやったことがない人、運動が苦手な人でも安心して参加していただけます。楽しく体を動かすことで「自分がここにいてもいい」と思ってもらえる場となるよう心がけています。

BBS 運動とは、Big Brothers and Sisters Movement の略称で、更生保護を支える青年ボランティア団体です。全国で約4500人のBBS 会員がそれぞれの地区で非行のない社会環境づくりのための活動を展開しており、これまで70年以上続けられています。

予告

「第1回 更生保護まつり」12月1日(日) セラトピア土岐で開催

土岐市で活動する更生保護3団体（土岐保護司会、土岐地区更生保護女性会、土岐地区 BBS 会）の活動を紹介する「第1回 更生保護まつり」は、現在 BBS 会が中心となって準備を進めています。遊びながら更生保護について学べるクイズコーナーやバルーンアート作りなどの体験コーナー、そのほかにも法務省保護局の公式マスコット「ホゴちゃん」との撮影会もあります。お気軽に遊びに来てください。



ホゴちゃんも来るよ！
会いに来てね！